●新会員代表者紹介

増田　壽男（ますだ　としお）

法政大学　総長

平林千牧前総長・理事長の任期満了に伴い、四月一日付で総長・理事長に就任。任期は三年間。

増田新総長は一九四一年東京生まれ。一九六四年に慶應義塾大学経済学部を卒業後、一九七〇年に同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。同年法政大学経済学部特別助手として採用され、一九七九年四月経済学部教授に就任し現在に至る。この間、イギリス歴史研究所（ロンドン）客員研究員、経済学部長、「二十一世紀の法政大学」審議会委員、比較経済研究所長、企画・戦略本部主席補佐等を歴任。

大西　晴樹（おおにし　はるき）

明治学院大学　学長

大塩武前学長の任期満了に伴い、新学長に大西晴樹経済学部教授が選出され、学院チャペルでの就任式を経て四月一日に就任した。任期は二〇一二年三月末までの四年間である。

大西新学長は一九五三年北海道生まれ。一九七五年法政大学法学部卒業、一九七八年明治大学大学院政治経済学研究科博士前期課程修了、一九八三年神奈川大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修了。一九九六年には経済学博士号（神奈川大学）を取得している。

本学には一九八三年に経済学部専任講師として着任、助教授を経て、一九九三年に教授。この間、オックスフォード大学リージェンツ

●新学長紹介

鈴木　宏一（すずき　こういち）

八戸大学　学長

蛇口浩敬前学長の任期満了に伴い、四月一日付で学長に就任した。任期は三年。

鈴木新学長は一九四七年宮城県生まれ。一九七一年慶應義塾大学経済学部を卒業、大和証券㈱に入社した。一九七四年から二年にわたり、旧西ドイツのケルン大学経済社会学部に留学。一九八九年大和総研ワシントン支社長、一九九三年大和総研ヨーロッパ㈱社長を経て、一九九六年大和総研理事就任、一九九六年日米二十一世紀委員会事務局長、二〇〇一年総合研究開発機構（NIRA）理事、二〇〇一年日本大学大学院客員教授を務め、著書には『夜明け前のアメリカ』（一九九〇年）、

専門は経済学（経済政策、独占理論、日本経済）。バブル崩壊、平成不況といった現象を通し、戦後日本経済の実相に迫る構造分析を行う一方、市場主義、グローバリゼーションといったキーワードを手がかりに世界経済の分析も手がける。現在、日本経済政策学会会員、経済理論学会会員、国際経済学会会員。編・著書に『現代経済と経済学（新版）』（有斐閣）、『なぜ巨大開発は破綻したか』（日本経済評論社）等のほか、論文多数。

法政大学は一八八〇年の創立以来、百二十有余年にわたる歴史と伝統を誇り、その建学精神に「自由と進歩、進取の気象」を掲げる。新総長は、これを基調に自身のこれまでの実績・経験を生かし、教学改革を一層推進し教育の質向上を図るとともに、自立型人材の輩出を目指す。校友との連携を強化し、法政コミュニティの充実、本学の地位向上に努める。新体制の運営では、その求心力、バランス感覚と手腕に、学内外の期待が集まっている。

子（一女）は独立し、現在は妻と二人暮らし。趣味は読書（歴史小説）、スキー、そしてガーデニング。

パーク・コレッジの客員研究員として研鑽を積んだ。二〇〇四年からは経済学部長を二期四年務めている。

専門はイギリス史であり、多数の著書、論文を世に問うている。なかでも「十七世紀イギリス市民革命の宗教的背景」といった分野の業績は高く評価され、主著『イギリス革命のセクト運動』は、革命期の急進的セクトの動向を第一次史料によって分析し、新しい研究領域に光を当てた画期的労作である。近年は、揺籃期のイギリス帝国についても多角的に論じているが、学会活動とともに二、三の研究会を率先して主宰し、若い学徒のよき指導者、相談相手ともなっている。

一八六三年のヘボン塾創設以来、明治学院大学はキリスト教主義の人格教育を建学の精神としてきた。大西新学長はキリスト者である。『キリスト教学校教育同盟百年史』編纂委員会の委員長を務めており、本学にリベラルな学風をもたらした歴史的背景も熟知している。学生諸君はもとより教職員の協力のもとで、新学長が大学改革の変動期に果敢に挑戦することが期待されている。

"Clinton Revolution"（一九九二年）、『次代のIT戦略』（二〇〇二年）などがある。

八戸大学では非常勤講師として一九九九年から講義を担当。二〇〇七年に副学長として赴任し、二〇〇八年四月学長に就任した。昨年度は全学部生向けに異文化理解（国際関係論）、ビジネス学部生向けに日本経済論と国際金融論の講義を担当した。

海外滞在十二年、訪問国数三十二カ国という経験を生かし、八戸大学のみならず八戸市広域の国際交流の発展に力を注ぐ。ボーダレスな発想を得意とし、「ヒトが国境を越える」ということが自身の柱の一つに据えられている。地域貢献を推進してきた蛇口前学長の方針を引き継ぎ、自らが先頭に立って、八戸大学が地域にできることをどんどん実現していこうとしている。

アメリカのニューヨーク市と同じ緯度にあり自然に恵まれた八戸大学のキャンパスで、鈴木新学長は、「明日に挑戦する元気な学生」の育成に力を尽くす。さらに、硬式野球部の活躍を一層高め、八戸大学からメジャーリーガーを誕生させたいとの野望を抱いている。

●新学長紹介

杉原　左右一（すぎはら　そういち）

関西学院大学　学長

平松一夫学長の任期満了に伴い、四月一日付で杉原左右一商学部教授が学長に就任した。任期は二〇一一年三月三十一日までの三年間。

新学長は一九四五年和歌山県生まれ。一九六八年本学理学部卒業。一九七〇年本学大学院商学研究科修士課程修了、一九七三年商学研究科博士課程単位取得、商学博士。専攻は統計学。著書『統計学』（晃洋書房）等。これまで、学校法人関西学院の院長代理、大学の学生部長、商学部長、総合教育研究室長、図書館長などの要職を歴任した。

過去に例がないわけではないが、本学の学長としては珍しい理系の学部（理学部）を卒

ミカエル・カルマノ

南山大学　学長

ハンス　ユーゲン・マルクス前学長の任期満了に伴い、四月一日付でミカエル・カルマノ人文学部教授（南山学園前理事長）が第六代学長に就任した。任期は二〇一一年三月三十一日までの三年間。

新学長は、一九四八年七月生まれの五十九歳で、ドイツ連邦共和国ヘッセン州出身。一九七〇年にドイツ聖アウグスティヌス哲学神学大学を卒業後、南山大学への外国人留学生として来日し、一九七四年南山大学文学部神学科卒業。一九七五年カトリック司祭叙階（神言修道会）。一九七八年米国カトリック大学修士課程修了後、一九八三年米国シカゴ大学で

久木田　重和（くきた　しげかず）

東京経済大学　学長

村上勝彦前学長の任期満了に伴い、四月一日付で就任した。任期は四年。

久木田新学長は、一九四三年福岡県生まれ。一九六六年九州大学経済学部卒業、一九七一年同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。一九七一年東京経済大学に経営学部専任講師として着任。助教授を経て、一九八四年教授に就任。入試委員長、経営学部長、大学院経営学研究科委員長、図書館長を務める。学外では、公認会計士試験委員などを歴任。

研究分野は会計学。時価主義会計を中心に会計学の基本問題について理論的実証的に研究している。特に、オランダにおいて一九三

業した学長の誕生である。理学部の学生時代は数学系の研究室に所属し、数学の勉強漬けの毎日を過ごした。「数字だけの世界に飽き足らなさを感じ、人間や社会の現象にかかわった研究をしたかったから」、大学院では商学研究科に進学し、統計学を専攻した。「多くの学生は受験勉強での必要性から、文系または理系の一方に偏った勉強だけをして大学に入学してくる。そもそも文系・理系の区別など便宜上の区分けにすぎない」と、自身の経験を踏まえ語っている。名前の「左右一」は、左右の異なる考えやアイデアを統一できる人物になってほしいという両親の願いを込めた名前だそうで、その名のとおり、文系・理系を融合した教育によって、スクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」の精神をもった人材を育てることを目指す。

「まず、大学院の充実をしたい。教育研究プログラム面では、異分野の理解と分野の垣根を越えた横断的な教育プログラムや共同研究を推進するとともに、教育研究環境面でも、一層の充実を図りたい」と抱負を述べる。

博士号取得。一九八四年南山大学文学部講師、一九九〇年同助教授を経て、一九九六年同教授。一九九六年以来南山学園理事並びに評議員を歴任し、一九九九年四月から二〇〇八年三月まで第九代南山学園理事長を務めた。

専門は教育課程論で、「大学教育と価値教育」「宗教と教育の国際比較」「教育と国家」等をテーマとする研究のほか、多様な人種・言語が混在する米国の学校カリキュラムや教育改革に関する研究を行ってきた。

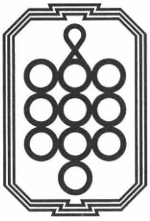
二〇〇七年に神言会来日百周年、南山学園創立七十五周年を迎え、その節目に合わせ「南山大学グランドデザイン」が策定された。二十年後のあるべき姿を標榜した「グランドデザイン」には、カトリック大学としての教育理念と「人間の尊厳のために」という教育モットーに基づき、改革に向けたビジョンと中長期目標が掲げられた。前学長から引き継いだ「絶えざる自己改革」と「個の力を、世界の力に。」というキーフレーズに、「違いをもたらす内なる充実」という一言を加え、グランドデザインの段階的実現を目指す。舵取り役としての新学長の手腕が期待される。

〇年代から理論展開され実践されてきた取替価値会計の理論的実証的な研究及びオランダ会計制度と会計基準の国際的コンバージェンスとの関連の研究に取り組んでいる。

東京経済大学は、一九〇〇年に創立された大倉商業学校を前身としている。進取の精神を意味する「進一層」の気概をもち、「責任と信用」を重んじるとともに、実践的な知力を身につけてグローバル社会で活躍する人材の育成を図ることを建学以来の理念とする。幅広い教養と専門的な知力に裏づけられた総合的な判断力としての実践的な知力を涵養するために、「TKUチャレンジシステム」という教育システムを昨年度より導入している。これは、社会人として必要なリテラシーを養う全学生対象の「ベーシックプログラム」と、公認会計士などのプロフェッショナル志望者を支援する特進的で選抜制の「アドバンストプログラム」からなり、実学と外国語重視の大倉以来の伝統をバージョンアップしたものである。この教育システムを充実して教育力の強化を図り、本学のブランド力を高めるための諸課題に取り組む。

●新加入会員大学紹介

福岡女学院看護大学



学校法人福岡女学院は、創立百二十三年の歴史を有し、一貫してキリスト教に基づく女性教育を推進し、幼稚園、中学、高校、大学、大学院を擁する総合学園として発展してきたが、本年新しく福岡女学院看護大学を発足させた。

その端緒は、独立行政法人国立病院機構の福岡東医療センターが、同法人の方針で付属の三年制看護学校を閉鎖するに際し、福岡女学院に対し、同センター敷地や病院の利用等を誘致条件として提示したことである。女学院はそれを受け、同地が別地であることから、看護学部でなく四年制の大学として新設する

大阪女学院大学

大阪女学院大学の教育は、一八八四年のウヰルミナ女学校としての創立以来、キリスト教教育を基盤に「何らかの方法で働く義務を悟り、正直に仕事をすることを誇りとし、日常生活の雑事を超えて、ものごとを見抜く力のある人間を形成する」（A・モルガン）ことを理念として百二十五年に至っている。

一九六八年に創設された短期大学（英語科）では、コンテンツベースの教授法による徹底した高度な英語教育と教養教育の統合により学生の人格形成を進め、短期大学士課程の新しいモデルとして一定の評価を受けている（二〇〇四年「特色GP」）。

●新加入会員大学学長紹介

徳永　徹（とくなが　とおる）

福岡女学院看護大学 学長

福岡女学院看護大学の初代学長に就任した徳永徹氏は、平成六年より十四年間、学校法人福岡女学院の院長、あるいは理事長を歴任した。その間、幼稚園長の八年をはじめ、一時期は大学学長、生涯学習センター長等も兼務。また今回の看護大学の開設準備委員長を務めるなど学院の諸改革の先頭に立ち、校勢の進展に貢献し、名誉院長の称号を贈られた。

徳永氏は、昭和二年生まれ。幼少より東京、浦和、鎌倉、横浜、長崎、熊本と転々し、昭和二十七年九州大学医学部卒。同大学院修了後、同大学細菌学教室助手となり、昭和三十四年国立予防衛生研究所（東京、現国立感染

ことを決定した。

既存の福岡女学院大学は、英語やリベラルアーツを主とした文系の三学部からなるが、近年、臨床心理士、保育士、幼稚園教諭等、隣人愛に立つ実務型女性の育成にも力を入れてきた。看護大学はその延長上にある。

新看護大学は、入学定員百人、看護師、保健師を養成する。大実習室や礼拝堂を兼ねた大講義室、図書館も完備した美しい四階建ての校舎が完成し、定員の五倍を超える志願者も得て、四月四日、順風満帆の船出となった。

教育目標としては、ヒューマンケアリングをキーワードとし、自然科学・人間科学の幅広い教養に支えられ、人間愛と倫理観を備え、また心理学や英語やコンピュータなど、人間関係を良好に維持しうるコミュニケーション能力も十分に修得した看護職者の輩出を目指す。

また大きな特色として、国立病院機構福岡東医療センターと連携し、臨地実習や臨床系授業に力を入れ、専門的な知識・技術を修得し、問題解決能力と看護実践力を身につける。さらに地域との提携を重視し、地域貢献のできる看護職者の育成を目指す。

その後、二〇〇二年に実施された工場等制限区域にかかわる規制緩和を機として、念願であった四年制大学の開学を実現した。

開学した国際・英語学部（Department of International & English Interdisciplinary Studies）では、国際社会、生活世界、ビジネス世界における問題解決能力（基礎的・応用的）の養成を目指した専門科目、専門実務科目を含む全卒業要件単位の六〇％の授業を英語を使用言語として展開している。

学士課程教育の先進例として、二〇〇七年度には「特色GP」の採択を得た。

二〇〇七年には完成年度を終了し、百二十八人を社会に送り出した。学士（国際・英語）という学位には、「自己の存在の尊さに目覚め、卓越した英語運用力と高度な専門的能力を身につけ、多くの人々と協働し、二十一世紀の国際社会や地域社会が抱えるさまざまな課題の解決に積極的にコミットする」と表記されており、広く世界を視野においたリーダーシップの担い手として働く女性を世界に送り出すことへの願いが込められている。

症研究所）に転勤した。以後、結核部長、細胞免疫部長、エイズ研究センター長等を歴任。この間、カリフォルニア大学へ二度留学し、東京大学、京都大学等、多数大学の非常勤講師も務めた。昭和六十三年同研究所副所長、平成三年同研究所長、平成五年三月退官した。この間、日本細菌学会賞、日本結核病学会賞などを受賞。勲二等瑞宝章の叙勲を受けた。

平成六年、福岡女学院より院長として招聘されて福岡へ赴任。これは、徳永氏が九州大学医学部の学生時代、当時福岡女学院の院長であった伯母の徳永ヨシ先生の勧めにより、福岡女学院教会で得心して洗礼を受け、徳永氏はそれをその後の人生の原点として心から感謝していたからであった。その後、研究を離れ、一切を福岡女学院にささげて働いたが、平成十五年、スウェーデンのノーベル・フォーラムに招かれて、徳永氏らが発見したCpG-DNAに関する招待講演を行った。

著書は和英多数があるが、異色は幼稚園長として毎月の父母だよりの巻頭に寄せた短文を集めた『喜びを力に』（梓書院）であろう。氏の人柄を知る好著と思われる。

●新加入会員大学学長紹介

関根　秀和（せきね　ひでかず）

大阪女学院大学 学長

二〇〇四年四月に開学した大阪女学院大学の初代学長に就任した関根秀和学長は、このほど四年の任期を終えて再任され、第二期目に入った。関根学長は一九三七年名古屋市生まれ。関西学院大学大学院社会学研究科修士課程修了。大阪女学院高等学校教諭を経て、一九六八年大阪女学院短期大学開設に伴い助教授に就任。その後、一九八三年大阪女学院短期大学学長に就いて以来、短期大学学長としては七期目に入っている。

この間、日本私立短期大学協会監事、同将来構想特別委員会委員、短期大学基準協会理事等を経て現在、大阪私立短期大学協会会長、

●海外トピックス

カナダにおける学生募集事情
――アルバータ州VS東部諸州

カナダでは、石油景気により急速な経済発展を遂げているアルバータ州が、学生獲得で東部諸州を圧倒している。大学入学年齢層のみならず、その親たちまでもが経済力にひかれて続々とアルバータ州に移住しているためである。この二年間に約二十二万五千人のカナダ人がアルバータ州に移住し、この勢いは弱まる兆しがない。人口学者も、かつてない大規模な国内移住であると指摘する。カナダ・ベスト大学にランクされなかった東部の大学の学生総数は、昨年度二・五％減少。さらに、子どもをもつ家族の転出は、将来のますます高校生減少につながる。東部諸州にとって極めて深刻な問題だ。

危機感を募らせる東部の大学の多くは、何とかアルバータ州への移住者を取り戻そうと、あの手この手の特別待遇策を打ち出している。

ノバスコシア州のアカディア大学では今年度、航空券支給サービスを開始した。数回実施され

講義を行うというものである。

同大学によると、アルバータ州教育委員会は、同州と米国の大学に教員・行政職員向けの修士課程プログラム開講の打診をしたが、より安価でプログラムを提供できる同大学がこれを請け負うことになったとのことである。

（『高等教育クロニクル』二〇〇七年五月十一日号）

中国がアフリカの大学と精力的に連携強化

去る六月、中国は、南アフリカ及びリベリアの諸大学に対する大規模な援助事業計画を発表した。アジアがアフリカへの関与を強めていることを如実に示す事例である。

南アフリカのシュワン工科大学は、キャンパスに孔子経営学院を設立する協定を締結。中国語の普及や中国ビジネス文化理解の促進に向けた環境整備の一つと言える。

また、戦争により甚大な被害を受けたリベリアに対し、中国政府はリベリア大学の再建援助に同意。その内容は、校舎、実験室、学生寮の新設、並びに工学、科学技術分野の中国人教員の派遣である。

日本私立短期大学協会副会長、短期大学基準協会副理事長、同第三者評価委員会委員長を務めている。また、中央教育審議会大学分科会臨時委員、大学設置審議会大学分科会委員、私立大学等経常費補助金特別補助検討委員、国立大学法人評価専門委員、大学評価・学位授与機構評議員などを歴任、現在に至っている。

所属する学会は、日本社会学会、日本都市学会、キリスト教文化学会、学生相談学会、交流分析学会、異文化間教育学会、多文化関係学会など。大学教育学会では常任理事を務める。著作は『新しい教養教育をめざして』（大学教育学会編、東信堂）等の諸誌への掲載が多数ある。

関根学長が入学式をはじめ機会あるごとに学生に語りかけるのは、「大学」で学ぶことの究極の意味についてである。知識や技術を身につけることそのものが目的ではなく、それによって他者に対する深い理解と共感が増し加わり、その結果、本当に重要なことを判別することができるようになることだと繰り返す。

る、三日間のキャンパス訪問イベントに二回でも参加し、同大学への入学を決めた高校生に、入学時に必要なアカディアへの片道航空券を支給するというものである。

また、ニューファンドランドのメモリアル大学とニューブランズウィック大学は、アルバータ州民に対し、秋学期に向けた入学審査及び合否判定を即座に行うサービスを実施。

また、ニューブランズウィック大学は、アルバータ州の優秀な高校生を対象に学費のクレジット支払い、航空券サービス、コーリングカード支給を内容とする抽選会を実施した。アルバータからの学生に対しては、学生寮入居を保証し、さらに個室を用意しているという。

しかし、アルバータ州の大学には、東部諸大学による、こうした強引ともとれる学生募集の手法にもほとんど動じる気配がない。人口の急増がアルバータ州の二十一の公立大学に絶大な力をもたらしている。同州政府は、二〇〇八年までに同州の大学の学生総数を一万五千人、二〇二〇年までには六万人増やすと公言している。

東部の大学には、この逆境を逆にチャンスに変えようという決意も見られる。プリンスエドワードアイランド大学は、アルバータ州エドモントン西部及び東部の二カ所に教育学修士課程を設置した。同大学の教員が毎月一回週末、及び夏期に一週間、飛行機で現地に出向き、集中

南アフリカのステレンボッシュ大学の中国研究センター研究員ナイデ氏は、アフリカの大学援助にかかわる中国の貢献は、欧米の政府や大学のそれと比較するとまだ小さいが、今後ますます拡大すると予想している。

中国は、急激な国内経済の成長を一層加速させるため、天然資源確保の必要性から、アフリカ各国政府に対し、道路や学校、その他インフラ整備に係る援助を約することで、友好関係を築いている。上記のような中国政府によるアフリカ高等教育との連携は、まさに外交上のソフトパワーによる国家間の関係強化、ひいては新たな契約への発展につながるものと言えよう。ナイデ氏は、中国とインドが理工学及び情報科学の分野でアフリカにもたらしている物的・人的資源を高く評価している。

例えば、先ごろ中国農学アカデミーの教授たちが、農業技術者訓練プログラム創設に向けた土台造りのためアンゴラに滞在した。中国政府はアフリカに、今後四年間で一万人の農業技術者を育成する計画である。

一方、アフリカ諸大学においては、アフリカ・中国の大学間学術交流の一環として、中国語教育が急速に普及している。現在、アフリカの大学生八千人が中国語を学んでいると新華社通信は伝えている。

（『高等教育クロニクル』二〇〇七年七月六日号）

連盟ニュース

●平成二十年春の叙勲

〔　〕内連盟関係

紫綬褒章

安西祐一郎（慶應義塾塾長）〔会長〕

旭日小綬章

水田清子（城西大学元理事長）〔元財務・人事担当理事者会議〕

瑞宝重光章

大南正瑛（立命館元総長・学長・京都橘学園特別顧問）〔元常務理事・元学長会議〕

土田將雄（上智大学元学長）〔元副会長〕

松前紀男（東海大学元学長・北海道東海大学元学長）〔元学長会議運営委員会〕

瑞宝中綬章

高添一郎（東京歯科大学名誉教授）〔元財務・人事担当理事者会議〕

奈良康明（駒澤大学元学長）〔元学長会議運営委員会〕

藤本　守（大阪医科大学元学長）〔元学長会議〕

松田藤四郎（東京農業大学理事長）〔理事・学長会議〕

松長有慶（高野山大学元学長）〔元登録代表〕

山野一美（関東学園元学長）

編集後記

□一般入試やセンター利用入試は、「合格できる」学生を選別しているだけで、必ずしも大学の教育理念や建学の精神に賛同し志願した学生を選んではいない。その結果、不本意入学者、隠れ浪人、五月病、成績不振者、在籍原級者を生む。AO入試は、その大学・学部に入学したい優秀な学生を選考するための入試であるはずが、受験生の「青田買い」を促進し、高校教育を全うすることのない状況をつくりだした。そのためリメディアル教育が必要となり、またAO入試から撤退する大学が現れた。年間複数回実施し、高校教育の理解度を数段階で表す統一試験があれば、こうした問題を解決できる。過去問の再利用を含め、入学試験の再考が求められている。（広報委員会委員長・明治大学教授　**安藏　伸治**）

□手に汗握る入学式本番、学生たちは堂々と日頃の学びをプレゼンテーションした。準備開始から半年間、学生を励ましてきただけに、鳥肌が立つ思いがした。学生とのかかわりが職員の成長の場であり、学生の成長が職員の喜びである――このことが身に染みた瞬間である。今号で特集した職員力量高度化。職員力量の向上は誰のため？　私たちはつねに問い続けなければならないだろう。ところで皆さんはお気づきだろうか。特集の報告の多くがプロジェクトチームなどの結成により前進したものであることに。職員がプロフェッショナルとしての自らの役割を自覚し、具体化に向けて動き出している。このうねりを読者にもぜひ感じてもらいたい。（広報委員会委員・立命館大学広報課長　**細野　由紀子**）

□大平貴之氏が作成した「メガスター」は、これまでのプラネタリウムの常識を超える四百万もの星々を表現することができる。大平氏は「自分流」を貫くエンジニアであると同時に、満点の星空を描写する「空間演出家」のようなアーティスト気質ももっていた。また、メガスターを通じて宇宙や科学に興味をもってもらえたらうれしいと語っていた。学習のきっかけというものは、やはり「楽しさ」や「感動」から生まれるものなのかもしれない。忙しい毎日が続く昨今ではあるが、プラネタリウムで星空を見上げると、宇宙の壮大なスケールを感じることができる。（編集企画分科会委員・明治大学資産管財課　**高橋　洋平**）

□新緑深まる五月、今号は座談会、小特集ともに大学の入り口をテーマに取り上げた。座談会では、高校生の学力が多様化する中で、学生確保のためにAO入試がいわば「乱用」されている状況から、一定の学力保障をしたうえで、各大学の建学の精神に照らし合わせて、学生を総合的・多面的に選抜することの重要性が指摘された。教室での均質性を考えるなら、多様な学生を獲得することはたして必要なのかとの問いかけに、多様な学生の獲得こそが私学の力になるとの発言が印象に残った。学力の底上げを図りながら、目指すは考え方、個性の多様性であり、それこそが私立大学の力になるのであろう。（編集担当　**阿部　晴美**）

本誌をご希望の方は……

○私大連盟ソーシャルリレーションズオフィスまでお申し込み下さい。

○お申し込みの際は、住所、氏名、大学（会社）名をご明示下さい。

○ご希望の方には、協賛協力金（年間五〇〇〇円）を負担していただきます。

社団法人 日本私立大学連盟加盟大学一覧（大学名ＡＢＣ順）
｜は同一学校法人

（124大学　平成20年５月20日現在）

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
中京大学｜
三重中京大学｜
中央大学
獨協大学｜
獨協医科大学｜
姫路獨協大学｜
同志社大学｜
同志社女子大学｜
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学｜
福岡女学院看護大学｜
学習院大学｜
学習院女子大学｜
八戸大学
白鷗大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
兵庫医科大学｜
兵庫医療大学｜
実践女子大学
上智大学
城西大学｜
城西国際大学｜
順天堂大学
関西大学
関西医科大学
関西学院大学
関東学園大学
関東学院大学
活水女子大学
慶應義塾大学
恵泉女学園大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
神戸海星女子学院大学
國學院大学
国際大学
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学｜
苫小牧駒澤大学｜
皇學館大学
甲南大学
高野山大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学
武蔵大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学
日本女子大学
新潟産業大学
ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科大学
大阪女学院大学
大谷大学
立教大学
立正大学
立命館大学｜
立命館アジア太平洋大学｜
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
清泉女子大学
聖心女子大学
聖トマス大学
聖和大学
専修大学｜
石巻専修大学｜
芝浦工業大学
白百合女子大学｜
仙台白百合女子大学｜
園田学園女子大学
創価大学
大正大学
拓殖大学
天理大学
東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京医科大学
東京医療保健大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京農業大学｜
東京情報大学｜
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学｜
四日市看護医療大学｜

大学時報　5月号

第57巻320号（通巻335号）
平成20年５月20日発行

編集人　広報委員長　安藏伸治
発行人　担当理事　八田英二
発行所　社団法人　日本私立大学連盟
〒102-0073　東京都千代田区九段北４－２－25
私学会館別館
電話 03－3262－2420
FAX 03－3262－2441
印刷所　凸版印刷株式会社
〒112-8531 東京都文京区水道１－３－３

<広報委員>
山田眞實　細野由紀子
出口清孝　斎藤誠
今野孝　山田清志
音好宏　吉岡俊正
新井泰彦　市川伸一
木本圭一　佐々木裕康
大石裕
橋本明子　阿部晴美
兼高聖雄

<編集担当>

ⓒ無断転載はご遠慮下さい。落丁・乱丁本はお取り替えいたします。